

専門部会からの報告

○部会資料

資料 1 今後の事業計画の考え方（概要）

資料 2 今後の事業計画の考え方（詳細）

《補足資料》

資料 3 今後の投資事業と投資額（案）

資料 4 10 年先を見越した収支状況（見込）

資料 5 府内市町村の上下水道料金比較表

資料 6 近隣市町の水道施設及び経営状況比較表

令和 7 年 11 月 6 日

宇治市水道事業経営審議会専門部会

ビジョン策定時

(令和 3～12 年度)

根幹となる施設を優先的に耐震化

重点事項

- 根幹となる浄水施設の耐震化
- 上流に位置する配水池から耐震化
- 基幹管路の耐震化

目標達成

《考え方》

災害時においても一定量の給水が確保できるよう、様々なリスクに備えた施設整備を行う。

中間見直し

(令和 8～12 年度)

管路の更新・耐震化に注力

※ビジョン策定時の考えは継承しつつ、配水池の耐震化については、国の実使用年数に基づく更新基準の設定例を参考に、更新基準年数(73年)を考慮した投資の平準化を図るものとする。

重点事項

- 基幹管路の耐震化
- 老朽管の更新 (強度の劣る石綿セメント管や铸铁管を優先)
- 上下水道耐震化計画に基づく避難所等に接続する管路の耐震化
- 緊急輸送道路下に布設されている老朽化した铸铁管の解消

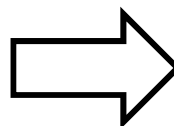
《考え方》

老朽管による破損事故が全国各地で発生しており、宇治市においても、昭和 40～50 年代に布設した多くの管路が更新時期を迎えていることから、今後は管路の更新・耐震化に注力。

【1】 施設の更新年数の考え方

	法定耐用年数
管路 (ダクタイル鋳鉄管)	40年
配水池 (土木構造物)	60年

【法定耐用年数】
減価償却費を算出するために国が定めている期間であり、実際に使用できる年数とは異なる。



更新基準年数
60年
73年

【更新基準年数】
国の実使用年数に基づく更新基準の設定例を参考にした年数

【2】 管路の更新・耐震化

- 1 大災害に備え、基幹管路の更なる整備
- 2 強度の劣る鋳鉄管の解消 (残りの延長 R2 末:4800m ⇒ 65%解消)
- 3 災害直後から緊急車両の通行を確保すべき、緊急輸送道路下に布設された
老朽化した鋳鉄管の解消 (残りの延長 R6 末:625m ⇒ 0m)
- 4 配水池から避難所等への管路の耐震化 (R6 末:0 施設 ⇒ 5 施設)
- 5 更新基準年数である 60 年を経過するまでの更新を目指す

管路の耐震化はスピードアップ

【3】 配水池の更新・耐震化

- 1 本ビジョンで計画している3箇所の耐震化を実施
- 2 更新基準年数である73年を経過するまでの更新を目指す
- 3 費用を平準化するために、1箇所ずつ更新

配水池は1箇所ずつ整備し、費用の平準化

配水池 (一番古い池の竣工年)	当初 計画	中間 見直し	竣工～耐震化 までの年数	備 考
五ヶ庄配水池 (S56)	R4～R8	→ R4～R11	48 年	下居・高峰山配水池については、 <u>非常時にはバイパス管により、 下流域への送配水が可能</u>
下居配水池 (S40)	R8～R12	→ R12～R17	70 年	
高峰山配水池 (S46)	R9～R12	→ R18～R21	68 年	

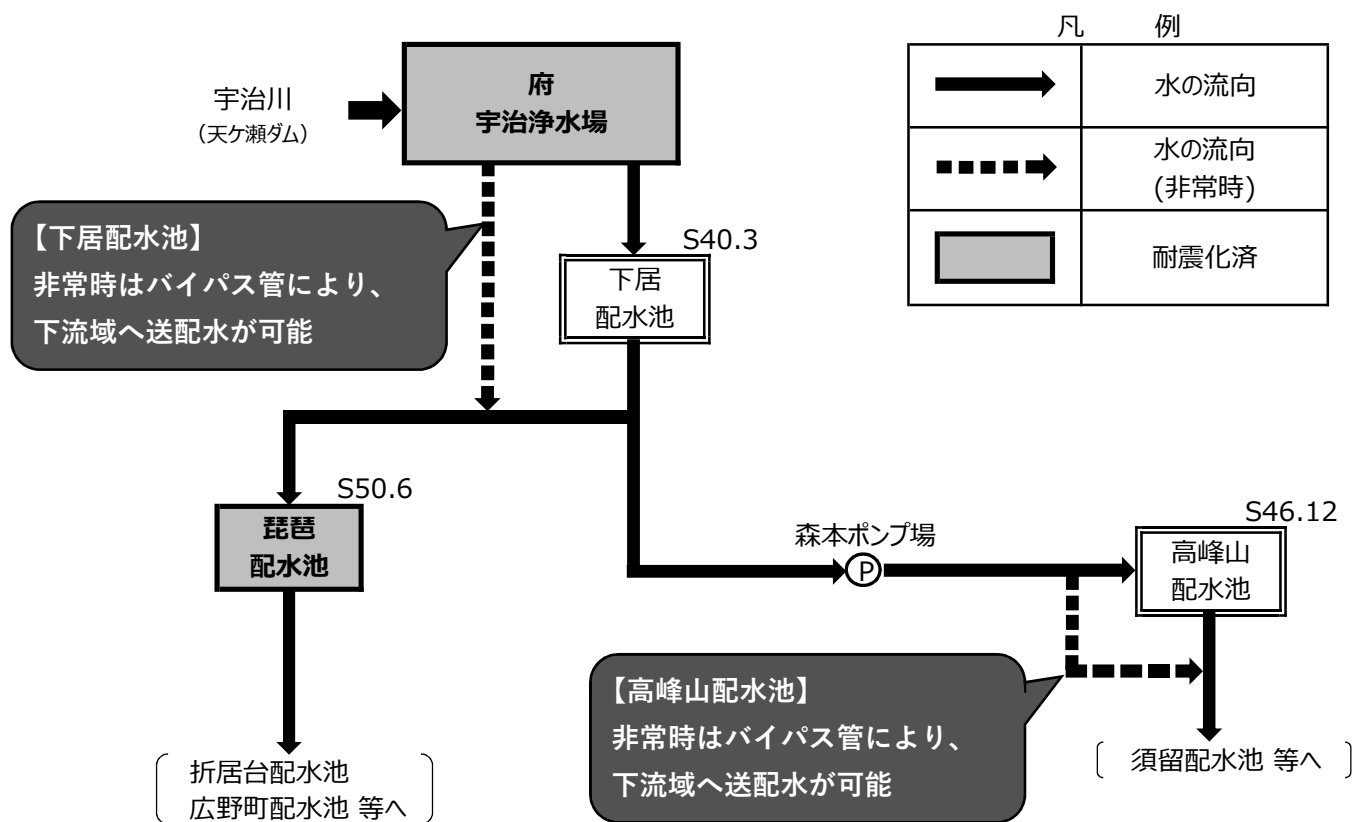


耐震化率の目標見直し(案)

(※基幹管路は耐震適合率)

	ビジョン期間 目標値	R7 末 見込み	中間見直し (～R12)	全国平均 (R5 年度末実績)
浄水場	82%	82.1%	達成	44.5%
配水池	87%	53.1%	60%	64.7%
基幹管路	31%	32.0%	35%	43.3%

主要施設の略図



今後の投資事業と投資額(案)

資料3

基本施策	事業内容	事業費 (単位:億円)			
		前半合計 (R3~7)	後半合計 (R8~12)	10年間合計	当初計画
① 鉛製給水管 (解消)	鉛製給水管の布設替	3.5	5.0	8.5	10.0
② 浄水場・配水池等 (整備)	宇治浄水場 (設備更新)	23.6	7.3	30.9	27.9
	琵琶ポンプ場 (設備更新)	6.9	14.3	21.2	38.6
	五ヶ庄配水池・ポンプ場 (耐震及び設備更新)				
	下居配水池 (耐震及び設備更新)				
③ 管路 (更新・耐震化)	基幹管路 (更新・耐震化)	20.8	25.1	45.9	26.0
	老朽管 (更新・耐震化)	18.2	22.5	40.7	25.0
	避難所等に接続する管路 (耐震化)	4.1	5.1	9.2	0.0
④ 水道施設 (再編成)	浄水場統廃合事業	2.2	0.0	2.2	2.2
	配水区域再編事業	0.7	0.0	0.7	0.3
事業実施計画 (①+②+③+④)		80.0	79.3	159.3	130.0
⑤ その他事業 (職員給与、営業設備、事務費含む)		33.4	29.0	62.4	53.6
建設改良費 (①+②+③+④+⑤)		113.4	108.3	221.7	183.6

整備費用の平準化により
当初計画より減額

前半
43.1
億円

後半
52.8
億円

合計
95.8
億円

計画
51
億円

計画額の1.9倍

当初計画より29.3億円の増

当初計画より8.8億円の増

後半投資額
21.7億円/年(平均)

当初計画より
38.1億円の増

10年先を見越した収支状況(見込)

資料4

【基礎条件】

①物価上昇率	2.0%	③企業債の金利	2.7%
②職員給与費上昇率	2.17%	④起債充当額	80%

※基礎条件は、情勢により見直すものとする

※基本的に令和6年度決算に乗じる

		R17年度までの収支状況(見込)									単位: 百万円
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度
収益的収入(A)		3,705	3,681	3,627	3,597	3,557	3,529	3,486	3,436	3,399	3,364
	給水収益	3,100	3,079	3,032	3,004	2,965	2,942	2,904	2,863	2,833	2,809
	長期前受金戻入	277	269	258	252	248	239	229	215	205	188
	その他収入	328	333	337	341	344	348	353	358	361	367
収益的支出(B)		4,268	4,379	4,504	4,627	4,778	4,883	4,979	5,083	5,161	5,223
	職員給与費 (退職給付費含)	444	454	464	474	484	494	505	516	527	539
	受水費	1,598	1,598	1,588	1,584	1,620	1,620	1,611	1,604	1,599	1,599
	減価償却費	1,137	1,190	1,254	1,319	1,370	1,412	1,444	1,482	1,505	1,505
	支払利息	166	197	239	272	307	340	383	424	452	482
	その他費用	923	940	959	978	997	1,017	1,036	1,057	1,078	1,098
収支差引(A)－(B)		-563	-698	-877	-1,030	-1,221	-1,354	-1,493	-1,647	-1,762	-1,859

ビジョン後半の5年間 **△44億円**

その他	物価上昇等による影響	投資等による影響
R4の料金改定時に、後半期間で不足すると試算していた額 16.2億円	人件費、物価上昇等による影響額 7.4億円	後半期間に毎年20億円規模の投資をする影響額 11.9億円 前半期間での投資等による影響額 約8億円

府内市町村の上下水道料金比較

資料5

※比較条件：家庭用・20口径・1か月・15m³・税抜き・メーター使用料含

順位 (高い順)		水道料金	下水道料金	上下水道料金
1	京丹波町	7,050	3,300	10,350
2	和束町	4,000	1,850	5,850
3	宮津市	2,663	2,616	5,279
4	伊根町	2,545	2,700	5,245
5	綾部市	2,725	2,340	5,065
6	京丹後市	2,623	2,170	4,793
7	南丹市	2,160	2,600	4,760
8	城陽市	2,645	2,100	4,745
9	与謝野町	2,387	2,260	4,647
10	福知山市	2,750	1,895	4,645
11	宇治市	2,297	2,072	4,369
12	八幡市	2,547	1,600	4,147
13	木津川市	2,100	2,025	4,125
14	長岡京市	2,270	1,765	4,035
15	舞鶴市	1,925	1,956	3,881
16	大山崎町	2,800	1,050	3,850
17	久御山町	2,475	1,313	3,788
18	向日市	2,255	1,510	3,765
19	精華町	1,735	2,000	3,735
20	宇治田原町	2,400	1,143	3,543
21	亀岡市	1,500	1,950	3,450
22	井手町	2,009	1,385	3,394
23	南山城村	3,360	—	3,360
24	京都市	1,855	1,265	3,120
25	京田辺市	1,486	1,467	2,953
26	笠置町	1,954	—	1,954

府内平均額 4,340円/月

※水道料金の場合、宇治市は 15位/26市町村

近隣市町の水道施設および経営状況比較

資料6

項目1位
項目2位

令和5年度(実績)		城陽市	八幡市	久御山町	宇治田原町	京田辺市	木津川市	長岡京市	宇治市
水道施設等	浄水場設置数	3	1	1	3	3	5	1	4
	配水池設置数	11	10	5	12	21	26	10	21
	ポンプ場設置数	7	5	8	11	15	27	2	23
	総管路延長(km) ※導送水管等含	267	286	110	99	364	537	289	709
	管路経年化率(%)	33.4%	32.0%	27.2%	15.7%	18.8%	19.7%	24.7%	28.9%
	管路更新率(%)	0.6%	0.6%	0.9%	0.0%	0.1%	0.2%	0.4%	0.7%
経営状況	経常収支比率(%)	115.3%	106.3%	91.1%	100.6%	100.7%	101.0%	102.2%	97.7%
	料金回収率(%)	110.8%	84.1%	77.0%	81.3%	85.1%	95.6%	98.8%	83.5%
	企業債残高(円)	43億円	37億円	9億円	8億円	0.7億円	16億円	49億円	105億円
	給水収益に対する企業債残高(%)	349.5%	323.6%	209.2%	471.3%	7.0%	131.1%	294.8%	342.1%

【近隣市町との比較】

- 水道施設等
面積が広いことに加え山間地など起伏が大きいことから、他の市町に比べ施設数が非常に多く、また管路の延長も長い。
⇒ 日常の維持管理、および老朽化した施設の更新・耐震化に相当の費用が必要となる。
- 経営状況
経常収支比率で100%を超えていないのは、宇治市と1自治体のみ。
給水収益に対する企業債残高は近隣市町の中では比較的高い方であり、施設の更新・耐震化工事のために毎年企業債残高は増加。